

2022年10月度

【ネットワーク促進部】

<受託事業に関する取り組み>

★「沖縄型産業中核人材育成事業」の「金融」は、全10回研修の半分が修了し折り返しに入りました。ここからは前半のインプット（知識、経験等）を基に、事業者ごとにDXを見据えたデジタル化実施計画書を策定するアウトプットフェーズになります。金融機関の行員さんとユーザー事業者さんが一緒に作る計画書、どのようなものが出来上がっていくのか楽しみです。（山川担当）

★「沖縄型産業中核人材育成事業」の「共通EDI研修」は、「基礎編3日」「応用編2日」を経て「実践編4日」まで終了しました。実践編では企業に共通EDIを導入する具体的な手順をケーススタディで実習にて学んで頂くとともに、ハンズオンで共通EDIプロバイダサービスの導入設定や受発注を体験いただきました。11月から始まる「体験編」では実際にEDIを導入した企業の経営者・担当者の方に「EDI導入の経緯や課題」などを語っていただき、その後、実際のモデル企業に共通EDIを導入するための提案書作成までをリアルタイムに行っていただきます。（鈴木さん担当）

★茨城県・長野県を対象に実施している「地域DX促進活動支援事業」は、13の事業者で伴走支援中です。現状では企業理念の確認と現状の業務内容を確認し、あるべき姿を描いている段階です。これは全10回の支援のうち2~3回目が終了しており、これからDX構想を練る段階へと進んでいきます。本事業は他地域での展開を見越しており、既に幾つかの地域とコンタクトを取り始めている状況です。ご自身の地域でも展開をしてみたいなど、ご興味のある方は右記までご連絡ください。（nw@itc.or.jp）（山崎さん担当）

<他企業・団体と連携した専門家派遣事業>

★経済産業省等が推進する「技術情報管理認証制度（TICS）」の認定取得を推進する専門家派遣事業については、日本金型工業会会員企業から25社、一般企業から3社の派遣申込みが来ており、専門家登録して頂いたITCの皆様と同県内企業の指導助言をお願いしています。特に最近、自動車関連業界でサイバーセキュリティのサプライチェーン対策強化ニーズが高まってきており、愛知県やその周辺地域企業の認証取得や更新支援の申込みが増えていきます。（松下さん担当）

★みらデジ経営チェック件数・専門家相談件数がなかなか伸びないとの状況をお聞きして、「みらデジ」事務局（パソナ社）と、その対策について意見交換をしました。事前にみらデジ専門家登録をしているITCの皆さんから意見やアドバイスをいただいていたので、お伝えをしました。まずはみらデジに触れていただく機会を増やそうということで、11月11日（金）12日（土）に開催するITC Conferenceリアル会場でチラシを配布することにいたしました。（山川担当）

<自治体関連取り組み>

★山形県では今年度 3 回目のとなる公募を実施しました。今回の公募は「山形県天童市DX推進計画の策定に係るアドバイザー業務」です。3名のITCが採用され、11月上旬から2023年の3月までの期間で天童市が取りまとめた計画案に対して専門的知見や課題認識、最新動向も含めた視点からアドバイスを実施する予定です。(山崎さん担当)

★新潟県では今年も農林水産部と共に、新潟県内の農業法人を対象にデジタル化支援を展開しております。3つの経営体に対し提案を実施するため、各経営体担当の普及指導員とITC、農林水産部職員、講師のITCで情報共有を実施しました。各地域での提案内容と進捗状況は違っておりますが、経営体の課題解決に向け取り組みを進めております。(山崎さん担当)

<個別事業者へのビジネスマッチング>

★栃木県内の民間事業者様よりITCの支援依頼を受け、公募を実施しました。公募内容は社内のDX支援とECを基軸とした仕組み作りのご支援です。本公募には10名のITCから応募があり、この中から1名が選出されました。今後も益々オンラインでのご支援依頼が増えてくると思われます。

★ITベンダーからの社員教育講師の紹介依頼をいただき、ご紹介をしました。“日本の企業は人材に投資しない”、“教育を「経費」から「投資」にできない”、ということをよく言われています。今回のような企業講師の紹介依頼ももっといただけるよう、“人材育成”でも活用できるITC“ということを更にプロモーションしていきたいと思ひます。

<中小企業共通EDIに関する取り組み>

★ITコーディネータ協会が事務局を担当している「つなぐITコンソーシアム」のホームページをリニューアルしました。つなぐITコンソーシアムは「中小企業共通EDI」の考えに賛同したベンダー企業などが集まって共通EDIの普及を目指す団体です。11月17日にはコンソーシアムとしてWebカンファレンス2022を開催いたします。ぜひ皆さんもご参加ください。(参加費無料)

<https://tsunagu-cons.jp>

★インボイス制度開始に向けて、EDI推進サポーター研修の共通EDI標準ver.4(インボイス対応)への対応を進めており、11/22開催分より反映される予定です。是非ご受講ください。

<https://www.itc.or.jp/foritc/seminar/edi2022.html>

尚、共通EDI推進サポーターの方には、別途、情報提供しますので再受講の必要はありません。(鈴木さん、野田さん担当)

### 【研修制度デザイン部】

★ケース研修の申込者数は10月末で177名となり、前年同時期より+24名となりました。今年度計画(830名)に向けて、引き続き集客活動に努めてまいります。

10月5日～6日にはケース研修インストラクター養成研修を開催し、大変に多くの方に参加いただきました。

4月に開始されました厚労省の人材開発支援助成金「高度デジタル人材訓練」の支給対象事業主適用条件が拡大※されました。ケース研修受講後にITC試験を受験する場合は本助成金の「訓練」に該当することを確認済みです。実際の適用にあたっては、各事業主が都道府県の労働局に適用対象となるかを確認いただく必要はありますが、周知を進めていきたいと考えております。

※「企業におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)を進めるために、事業主において企業経営や人材育成の方向性の検討を行い、この検討を踏まえて事業内計画等の計画を策定していること」が追加。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000985810.pdf>

★ITC試験関連では、2022年度第2期試験(第49回)が無事終了しました。受験者数614名(申込者数637名)で、前回比36%増、昨年度同期比46%増となり、ITC資格への関心度が高まっている事が見受けられます。合格された方はおめでとうございます。また2023年度の試験日程を公開しました。2023年度は年2回の試験を予定しております。次回2022年度第3期試験(第50回)は、1月19日申込開始、2月2日受験開始を予定しております。

詳細は資格取得サイト

<https://itc-shikaku.itc.or.jp/exam/#exam-day>

にてご確認ください。

★ITCA研修では、10月は2回セミナーを開催いたしました。10月13日は「ビジネスのためのメタバースとNFT」とし“トレンド”をテーマとしたものに、10月26日は「中小企業のWEBマーケティング基礎知識」とし“ITC支援”をテーマとしたものにいたしました。どちらも満足度が高いアンケートをいただいたこともあり、今後もいろいろなテーマのセミナーを企画していきます。

★フォローアップ研修は、下半期になりお申し込みが増えてきました。昨年度から開催数の平準化を心掛けて計画し、上半期の受講者も増えておりますが、年度末に向けお申し込みが増えることも予想されます。研修内容や日程により満員になることもあります。2020年度に資格認定された方は、来年度資格更新にあたり受講が必要となりますのでお早めにご受講ください。

★2022 年度「テーマ研究・調査活動」募集では、8 編の活動計画書が提出されています。計画書の提出申込期限を延ばしてほしいとの要望もあり 11 月 30 日まで募集期間を延長しております。計画書／報告書提出者には実践力ポイント 2 ポイント取得できます。

詳細はこちらの募集要項をご覧ください。

<https://www.itc.or.jp/foritc/itccommunity/outline.html>

★10 月 19 日～21 日に東京ビッグサイトにて「スマートファクトリーJapan2022」が開催されました。協会では、主催者（日刊工業新聞社）の特別企画「DX／EDI よろず相談コーナー」の依頼を受け、昨年引き続き展示しました。全体で 3 万 6000 人の入場者があり、本協会ブースにも多くの相談者が来られ、IT コーディネータの立ち寄りもありました。来場者からはリアル開催の良さや様々な刺激を受けたとの話を聞いております。今回、相談員としてご協力いただいた IT コーディネータの皆様には感謝申し上げます。開催状況はこちらをご覧ください。

[https://www.itc.or.jp/society/activity/committee/japan\\_2022\\_houkoku.html](https://www.itc.or.jp/society/activity/committee/japan_2022_houkoku.html)

#### 【コミュニティデザイン部】

★10 月度の資格認定者は 114 名と、前月の 22 名から大幅増となりました。10 月に試験が終了し、合格して認定条件を得た多くの方から申請いただいた結果です。累計では 503 名となり、昨年同月の累計 455 名より 10%ほど増加していますが、目標 753 名(対前年 120%)には、まだ厳しいペースです。2 月から 3 回目の試験もあり、ケース研修修了かつ試験未受験の方への受験案内など、引き続き促進施策に取り組んでまいります。

★11 月 11 日（金）12 日（土）に開催する ITC カンファレンスの準備が佳境を迎えています。会場となる秋葉原シアターの設営およびライブ配信環境等の事前検証、講師の方々との資料調整、ITCA 表彰の受賞者との段取り確認、コロナ感染予防対策など、延べ 1600 名を超える方が参加されるイベントですので、遺漏なきよう万全を期したいと思います。

<https://www.itcc.itc.or.jp/>